



20年後、子供たちが自立して人生を歩むために

自ら学んでいくための姿勢を身につける

何歳になっても
どのような状況に対峙しても
色褪せることなく自らを支えてくれる
そのような「強く学ぶ力」を
ロジムで身につけて下さい

学力というのは、講師から一方的に与えることはできません。

教材や講師の説明はきっかけに過ぎず、自ら考えることでのみ向上していくものです。

ですから、低学年の皆さんには与えられた問題、情報に対する正しい「姿勢」を身に付けてもらいたいと考えています。類推し、比較し、試し、反省するという基本姿勢を身につけることは、思考停止を乗り越え、自ら学んでいく力の源となり、より高度で複雑な内容へ向かっていくための土台となるからです。

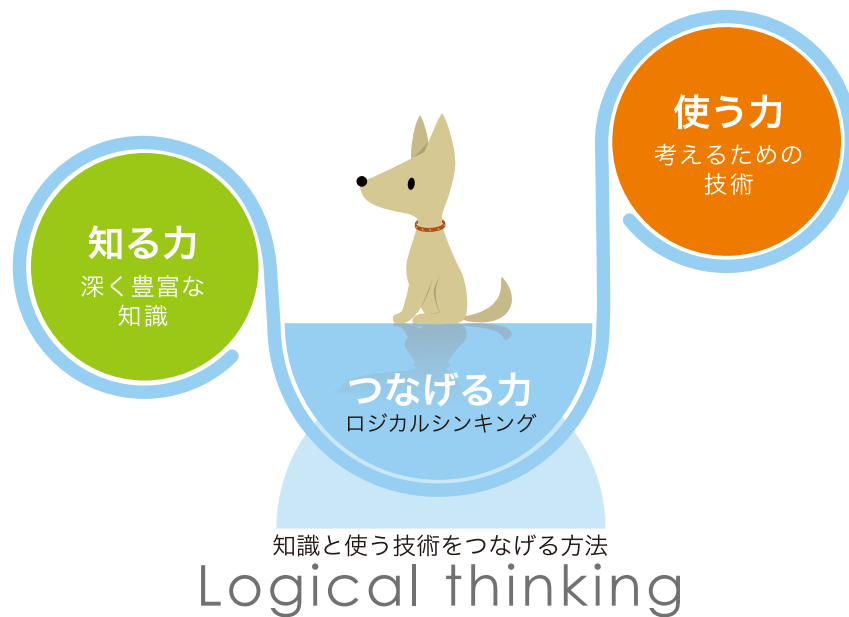
ロジムでは低学年時は全員「ロジカルシンキング」という講座を受講します。これは、体系立てられた思考の基本技術を身に付けることに加え、「数」「ことば」を題材にした問題・ゲームに取り組むことで論理的に、粘り強く考える力を養うことを目指したものです。

人は壁にぶつかったときこそが大きな成長の機会です。その機会を逃さずに、正面からぶつかり自力で試行錯誤しながら進んでいく。何歳になっても、どのような状況に対峙しても、色褪せることなく自らを支えてくれる、そのような「強く学ぶ力」をロジムで身につけて下さい。

学習塾ロジム塾長

刈野 進

将来にまで生きる学力を生徒が身につける場所、それがロジムです。



「基礎学習」には2つの軸があります

1つ目は知識を豊富にすること

言葉や計算のアルゴリズムの理解は、これから学びを進めていくための土台です。

2つ目はそれらの知識を使いこなす技術を身につけること

知識を組み合わせたり、適切に比較したりする能力は、初めて出会う問題について適切に予想し解決していくために必要なものです。

ロジムでは「数」と「ことば」の2分野に関して、適切なアドバイスや解説を受けながら問題にじっくり粘り強く取り組む「レクチャー授業」と、ゲーム形式を中心に迅速に頭を回転させ、知識を実践する場となる「ゲーム授業」の2つのスタイルで進めていきます。

この2つの授業形態を組み合わせることで、「深く豊富な知識」と「考えるための技術」を本当に使いこなせるようになるレベルを目指します。

ロジムカリキュラム3つの特徴

tojim 1 科目

全生徒が
ロジカルシンキングクラスを受講
ロジカルシンキングを土台とした
「数」と「ことば」の授業



tojim 2 メソッド

「レクチャーメソッド」と
「ゲームメソッド」の
2つの授業形態

line-out
training

レクチャー メソッド

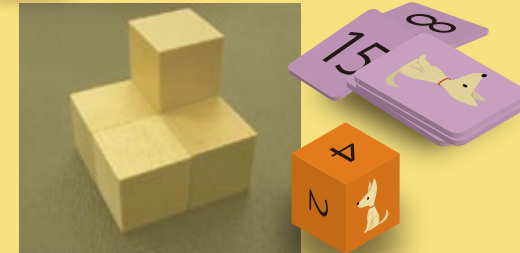
机・紙での思考
発表・ディスカッション



Agility
training

ゲーム メソッド

イメージでの思考
迅速な試行錯誤



tojim 3 時間割

「数の週」と「ことばの週」を設定し、1回の授業のテーマを1つに絞ります。
これにより120分の授業の中で、「基礎」で考え方の基本を学び、それをすぐに「レクチャー」「ゲーム」で活用するという学びのサイクルを作ることが出来ます。

本科ロジカルシンキングの時間割例







*Education is
what remains after one has forgotten everything
he learned in school.*

Albert Einstein

教育とは、
学校で習ったすべてのことを忘れてしまった後に、
自分の中に残るものをいう。

アルベルト・アインシュタイン

